

INVITATION

Ehime University Hospital [愛媛大学医学部附属病院広報誌]

VOL

56

2019



新しい時代の幕開けとともに

DOCTOR'S VOICE 01

10年後を見据え、新たな取り組みへ挑戦

DOCTOR'S VOICE 02

高齢者の健康寿命延伸を支えるコラーゲンペプチドの臨床研究

DOCTOR'S VOICE 03

運動器疾患の正しい情報と高度な医療技術を提供

DOCTOR'S VOICE 04

双方向の関係を築き、よりよい治療環境の提供を

新任・医学系研究科長／医学部長

10年後を見据え、新たな取り組みへ挑戦

免疫学・感染防御学 教授 山下政克

今年4月に医学系研究科長／医学部長を拝命しました。歴代の研究科長が作り上げた土台を強固な基盤として維持しつつ、若い執行部のメンバーと協力して、10年後の医学部の姿を見据えながら、責任を持って新たな取り組みに挑戦していきたいと思えます。

まずは、臨床系と基礎系の組織間の垣根が低いことを生かし、両者が連携した研究の推進に力を注ぎます。また、学部・大学院において、臨床系と基礎系が連携した教育課程を作ったり、地域と協力した実習プログラムを新たに増やししたりするなど、教育面での連携も進めます。さらに、愛媛県内の医療機関や、松山大学薬学部、愛媛県立医療技術大学、岡山理科大学獣医学部（今治）などと協力し、教育・研究の地域連携体制を構築したいと思います。これらの取り組みを通して、地域貢献はもちろん、国際貢献にも繋がる多様性のある人材を長期的な視点を持って育てたいと考えています。

この他にも「連携」、「融合」、「多様性」をキーワードに、教職員の皆さんからアイデアや意見を広く募るだけでなく、それを実行に移せる環境を整えていきます。



PROFILE

やましたまさかつ◎1991年大阪大学大学院医学系研究科修士課程修了。2012年から愛媛大学大学院研究科教授、17年副研究科長。専門は免疫学。富山県出身、とやまふさと大使。趣味は、旅行、バレーボール。

寄附講座「抗加齢医学（新田ゼラチン）講座」の設置

高齢者の健康寿命延伸を支えるコラーゲンペプチドの臨床研究

抗加齢医学（新田ゼラチン）講座 教授 伊賀瀬 道也

「抗加齢医学講座」の主目的は、高齢者を中心とした健康寿命の延伸であり、特にフレイル（※）の予防に注力することです。本講座では、フレイル予防に向けた取り組みとして、低分子コラーゲンペプチドの臨床研究を行います。コラーゲンペプチドを摂取すると、小腸で吸収、分解される際に、アミノ酸以外にアミノ酸が2つ結合した「ジペプチド」という状態でも血中を循環し、体内の各部位の細胞の働きを調整する命令を与えます。私たちはすでに低分子コラーゲンペプチドが血管の弾力性を改善するというデータを報告していますが、これ以外にも肌機能改善、血糖値改善、認知機能低下予防などの効果がありそうです。皆さんがご存知の「フグや豚の角煮を食べるとお肌がプルプルになる」という感覚が、科学として立証されつつあります。

今年度から5年ほどかけて抗加齢・予防医療センターを中心に臨床研究を行います。寄附元の「新田ゼラチン株式会社」は愛媛に起源をもつ大阪府の会社ですので、アンチエイジングを大きなテーマとする大阪万博も見据え、大阪での活動も展開していきたいと考えています。



PROFILE

いがせみちや◎1991年愛媛大学医学部卒業。公立学校共済組合近畿中央病院循環器内科、愛媛大学大学院等を経て1999年愛媛大学老年科助手、2003年米国ウェイクフォレスト大学医学部留学、2011年より抗加齢・予防医療センター長。趣味は旅行、車、スイミング。

※フレイルとは、加齢による衰え全般を指した言葉で、身体的、精神・心理的、社会的問題を含む言葉。

寄附講座「関節機能再建学講座」の設置

運動器疾患の正しい情報と高度な医療技術を提供

関節機能再建学 准教授 日野和典

2014年1月に愛媛大学に本邦初の統合型人工関節センターが設置されました。現在、年間300例を超える人工関節置換術のほかに、スポーツ障害に対する関節鏡視下手術（前十字靭帯再建術、半月板治療等）など多くの関節治療を実施しております。人工関節治療では日常生活動作が飛躍的に改善し、諦めていた農作業や趣味のゴルフの再開など患者さんからは「人生が変わった」との喜びの声を多くいただいています。しかし、大学手術枠の都合にて急増する需要に十分対応できず、手術を待機していただかなければならない状況でした。2019年4月に関節医療に特化した講座「関節機能再建学講座」を愛媛大学に、人工関節センターのサテライトの役割も有する施設として「関節治療センター」を南松山病院に開設し、患者さんの希望のタイミングでの手術にお応えできるようになりました。正確な医療情報の発信、安全・安心で最先端の関節医療の提供、専門的な医療人材の教育・養成、高い生活レベルに対応する人工関節の研究・開発を行い、地域の皆様の早期スポーツ復帰、健康寿命の延伸に貢献していく所存です。



PROFILE

ひのかずのり◎1998年愛媛大学医学部卒業。2008年より愛媛大学整形外科に勤務、2019年より現職。関節鏡技術認定医、日本スポーツ協会公認スポーツクター、愛媛FC・FC今治の膝関節治療も担当。自身も長いサッカー経験がある。

FROM VIP DOCTOR

愛媛大学医学部附属病院に期待すること『VIP DOCTORに聞く』

双方向の関係を築き、よりよい治療環境の提供を

済生会今治病院 院長 松野 剛

愛大病院に期待することは優秀な医師の育成と愛媛県全域への医師の配置です。また、愛媛県の誇りとなるよう、愛大病院発の研究論文や医療実績を世界に発信してほしいです。

当院は、2017年3月に愛大病院との連携協定を締結しました。医師だけでなく看護師や医療技術者などのスタッフ間の交流や研修を実施することで、当院全体がレベルアップしました。例えば、調剤を院外処方に移行した際、薬剤師による患者さんへの薬剤説明や指導力がUPしたり、愛大病院で経験を積んだ栄養士による味を含めた食事全体の改善を図ったりと、その効果は素晴らしいものです。これからは、当院の緩和ケア病棟の活用、脳腫瘍のための放射線治療装置「サイバーナイフ」（最新式を購入）の共同使用など、双方向の関係に発展させたいです。また、初期臨床研修中に行う、済生会3病院（松山・今治・西条）の討論セミナーも継続し、若手医師の育成に役立てたいと考えています。



PROFILE

まつつのつよし◎大洲市出身。1981年岡山大学卒業、1985年同大学院医学研究科修了（病理学）。2000年4月から現職。趣味は写真、トレッキング、天体観測など。継続は力なりをモットーに研修医を指導している。

愛媛大学医学部附属病院 トピックス

お気軽にご相談ください

市民公開講座「移植医療の今とこれから」



平成31年2月3日(日)、当院に新たに設置した臓器・組織移植センターの開設を記念した市民公開講座を開催し、愛媛県における臓器移植の現状や当院の実績などについて紹介しました。また、移植実施後に移植者から提供者の家族に送られたサンクスレターを当院のコーディネーターが読みあげるなど、出席者はいのちのリレーについて考え、それをつなぐ意思表示の大切さを改めて認識していました。

総務課企画・広報チーム ☎089-960-5943

連携病院長会議を開催



平成31年3月2日(土)、当院と県内外の医療機関が、地域医療や先進医療等の現状や課題などを共有することを目的とした第31回愛媛大学医学部連携病院長会議を開催しました。会議では、臨床実習(学生)や臨床研修(研修医)の現状、先進医療や地域医療連携について話し合われたほか、総会で眞鍋馨老人保健課長(厚生労働省)らの講演があり、今後の医療政策の方向性に関するトピックスなどを話しました。

総務課企画・広報チーム ☎089-960-5943

エイズ診療ネットワーク会議を開催



平成31年2月7日(木)、エイズ診療ネットワーク会議を開催し、県内のエイズ診療病院の医療従事者などが出席しました。本会議は、最新の医療情報などを共有し、県内のエイズ診療体制の充実を図ることを目的に毎年開催しているものです。今回は、県内の現状報告や最新の治療法に加え、徳島県立中央病院の尾崎修治先生から、徳島県におけるエイズ診療についてお話しいただき、出席者らによる活発な意見交換が行われました。

総務課企画・広報チーム ☎089-960-5943

ステークホルダー協議会を開催



平成31年2月15日(金)、ステークホルダー協議会を開催し、県内の学生実習及び卒業後臨床研修における協力機関の院長らが出席しました。今求められている診療参加型の学生実習や医学生の医行為及び愛媛大学医学部における卒前教育改革などの説明や、採用したい卒業生像、学生実習受け入れ時の課題や対応状況のほか、実習プログラムの改善案や今後の要望など、数多くの意見が出され、有意義な協議会となりました。

総務課総務チーム ☎089-960-5125

ICTネットワーク による診療連携開始

当院では、平成31年4月から患者さんからの希望と同意を得て、当院の患者さん本人の診療内容を地域のかかりつけの先生にも見ていただけるサービスを開始しました。このサービスを利用していただくことで、紹介状には書ききれなかった細かな内容まで閲覧できるため、今まで以上に便利で安心できる診療を受けることができます。もちろん、個人情報についても安全な専用回線を使用していますので、セキュリティ対策も万全にしております。

詳しくは、下記担当窓口までお問い合わせ下さい。

総合診療サポートセンター
☎089-964-5111
(内線2362)

編集後記

本号の表紙は、愛媛県の医療を担うべく新たに加わった研修医・看護師・薬剤師のみなさんです。1人前の医療人に成長するよう、全員で一丸となって支援していきたいと考えています。

特集では、4月から医学部長/医学系研究科長に着任した山下政克教授に今後の抱負等を伺っています。また、4月に新たに設置した2つの寄附講座について紹介しているほか、当院に期待することを済生会今治病院の松野院長にお話しいただいています。是非ご一読下さい。

本誌がお手元に届く頃には、「令和」という新しい時代がスタートしているかと思いますが、皆様におかれましても、ますますのご発展をお祈り申し上げます。

広報委員会委員長 高田清式

◎表紙

病院長 三浦裕正

看護部長 久保 幸

総合臨床研修センター長 高田清式

新人研修医 看護師 薬剤師